

vol.  
**106**

2021  
11/26 発行



いちのへ社協だより

# ゆいっこ



## CONTENTS

歳末たすけあい募金運動への協力をお願い	2	つながる地域つなぐて・と・て	6
特集 法人後見事業の取り組み	3	社協からのお知らせ	7
できごとフラッシュ	4～5	Topics	8

題号"ゆいっこ"は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。



# つながる地域 つなぐて・と・て part 10

## 株式会社一戸製材所 齊藤翔太さん

かつて一戸では当たり前だった活気ある地域づくり。誰もが自然に手を差し伸べ合い、助け合える地域づくり。そんな光景を再び一戸に取り戻したい…。社会福祉協議会は、住民が手と手を取り合い支え合う地域づくりの実現を目指しています。このページでは、町内の住民主体による活動によって地域が元気になり「つながり」が生まれていく様子をシリーズで紹介していきます。



株式会社一戸製材所梅垣俊輔社長(左)と今年10月に入社した齊藤翔太さん(右)。町内はもとより県内外の建築資材を取り扱う同社は、梅垣社長の先代から障害者雇用に取り組んでいる。

### 障害のある自分が、 人に教えるということ

キリっとした顔立ちに黒縁眼鏡、作業着もおしゃれに着こなす好青年。齊藤翔太さん(26)は、今年10月から株式会社一戸製材所(梅垣俊輔社長)での仕事を始めたばかり。機械で裁断された木を所定の位置へ選別、移動するのが翔太さんの担当だ。

9月までは、パン製造で有名な社会福祉法人カナンの園力ナン牧場に8年半勤務。リーダーとして従業員をまとめ上げる程の真面目さが買われ、同法人出身の先輩がいる一戸製材所での就労が決まった。就職してから日は浅いが、「人思いで真面目、明るく元氣な挨拶が魅力」と梅垣社長も太鼓判を押す。プライベートでは身体を動かすことが好きで、2016年全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技において2位入賞を果たす程の実力。自分の経験を後進育成に活かしたいと、公式審判員中級の資格も取得した。

「20代前半、やんちゃしてたくさんの人に迷惑をかけた」と苦笑いする翔太さん。たくさんの

人にお世話になった時代を経て、リーダーとして「教える側」を経験した彼は言う。「指導される側、指導する側、自分にはどちらの気持ちもちもわかる。障害のある人の気持ちもわかる。障害に対する理解が進み、次世代の活躍の場が広がってほしい。」

### 障害って、うちの会社では「特技」と呼ぶ。

一戸製材所が障害者雇用を始めたのは先代から。翔太さんで2人目となる。従業員同士で支え合おうとする協調性やチーム

ワーク、互いに研鑽し合い励まし合う姿等障害者雇用が会社にもたらした効果は大きい。

「障害って、彼らにあるものじゃない。私たちの見方にあるもの」梅垣社長は温かく従業員を見つめた。障害があってもなくても、その人にしかできない、その人の特技を活かした仕事を任せる。その姿を見て、自分の中にあった「障害」に気付かされた。

翔太さんの夢は、お世話になった人への恩返しと、家族を持ち自分の家を建てること。そう語る真つ直ぐな眼差しに、夢が叶う日が近い気がした。



1 翔太さんと同じカナンの園出身の先輩田口さん。翔太さんの存在は、田口さんの励みともなっている。

2 端材に「翔太」の文字。端材を会社からもらい、趣味の木工に活用する。作るのは、お世話になった人たちへ木箱のプレゼント。





## 日常生活自立支援事業(あんしんねっと)のご案内

高齢の方や障がいをお持ちの方で、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理の判断が不十分な方をサポートする事業です。

- サービス内容：①福祉サービスを安心して利用するための援助サービス  
 ②日常的なお金の出し入れをサポートする金銭管理サービス  
 ③大切な書類等を安全に保管する書類等預かりサービス

利用料：1回1時間当たりおおむね1,300円(相談は無料)

問い合わせ：一戸町社会福祉協議会  
 (TEL 0195-33-3385)



## 生活やしごとに関する困りごと相談会開催のお知らせ

「就職しても長く続かない」「収入はあるが、借金があり生活が苦しい」「人とのコミュニケーションが苦手だ」など、暮らしの中の様々な悩みに関する出張相談会を開催します。

日時：令和3年12月17日(金)午前10時00分～正午

場所：一戸町総合保健福祉センター

費用：無料

問い合わせ：一戸町社会福祉協議会  
 (TEL 0195-33-3385)

## 表紙の紹介



今年10月から、株式会社一戸製材所(梅垣俊輔社長)に勤務する齊藤翔太さん(26)。

障害者雇用に取り組む同社梅垣社長と翔太さんは、障害に対する正しい理解が進み、次世代が活躍する場が広がることを願い奮闘中。

(関連6ページ)



## 運動指導員等講師派遣を行っています。

コロナを契機に自宅で過ごす時間が増え、体力の衰え、意欲の減退を感じることはありませんか？町内会や老人クラブ等の集会、介護予防教室やふれあい・いきいきサロンへ、各種講師を派遣する事業を実施しています。

派遣できる講師：NPO スポーツウェルネス(町総合運動公園)運動指導員、看護師や歯科衛生士、社会福祉士など保健医療、福祉に関する専門職

費用：無料

問い合わせ：一戸町包括支援センター  
 (TEL 0195-32-3700)  
 一戸町社会福祉協議会  
 (TEL 0195-33-3385)



## VR 認知症プロジェクト開催のお知らせ

VR(バーチャルリアリティ)を使って、認知症を疑似体験します。その中に認知症ケアの新たな寄り添い方を見つけるヒントがあります。認知症の人の世界を体験し、あなたにできる認知症ケアを考えてみませんか。

日時：令和3年12月14日(火)午後1時30分～午後3時00分

場所：一戸町コミュニティーセンター

費用：無料

申込方法：問い合わせ先へ電話で申し込み。(先着順)

問い合わせ：一戸町社会福祉協議会  
 (TEL 0195-33-3385)



前年度県立一戸高校で実施した「VR 認知症プロジェクト」の様子